

千葉経大新聞

第46号
発行
千葉経済大学
千葉市稲毛区轟町
3-59-5 (〒263-0021)
TEL.043 (253) 9111(代)
FAX.043 (254) 6600
http://www.cku.ac.jp

クリーン革命、東北ルネサンスと日本の再生



学長 小滝敏之

二〇一一年三月十一日、史上最大級の巨大地震と大津波により、東北地方を中心に想像を絶する壊滅的被害がもたらされた。地殻がひび割れ、地球がどよめき、列島が震え揺らいだ。沿岸部の町や村は丸ごと飲み込まれ、数多くの命が奪われた。景色が変わったところか、風景は跡形もなく消え、廃墟と化してしまっただけで、被災者の窮状は極めて深刻であり、絶望視されるほど

二〇一一年三月十一日、史上最大級の巨大地震と大津波により、東北地方を中心に想像を絶する壊滅的被害がもたらされた。地殻がひび割れ、地球がどよめき、列島が震え揺らいだ。沿岸部の町や村は丸ごと飲み込まれ、数多くの命が奪われた。景色が変わったところか、風景は跡形もなく消え、廃墟と化してしまっただけで、被災者の窮状は極めて深刻であり、絶望視されるほど



経済学部長 鈴木信雄

テオリアとスキエンティア

先日、新聞を読んでいたら、地震、津波、原発事故といった未曾有の災厄に関する報道の洪水が埋もれてしまっている。それは、現代の技術の粋を集めて造られ、海外からも視察が来た巨大な防

先日、新聞を読んでいたら、地震、津波、原発事故といった未曾有の災厄に関する報道の洪水が埋もれてしまっている。それは、現代の技術の粋を集めて造られ、海外からも視察が来た巨大な防

出ているという記事であった。この記事の指摘する事実が、同じ新聞の社説が主張していた「日本の科学技術の粋を集めてこの困難に打ち勝つていこう」という主張と鋭い対照をなしていたこともあって、記憶に強く残った。

想像を絶する自然の猛威に對する備えを全面的に見直すべきことは言うまでもない。想定外という言葉で片づけてはならない深刻な原発事故を引き起こした企業や人間の誤算と専門家の過信や慢心を真剣に悔い改め、すべての国民が自分の犠牲を払って、大打撃を受けた東北地方の活路を開き、再生を図るため支援していかねばならない。

このたびの震災により被災した学生・生徒の皆様に対して、心よりお見舞い申し上げます。

千葉経済学園（千葉経済大学・千葉経済大学短期大学部・千葉経済大学附属高等学校）では、このたびの地震・津波等で被災した学生・生徒（平成二十三年度の新入生を含む。）に対し、経済的理由で勉学の機会を失うことがないよう就学機会を確保するため、次の支援を行うことと致しました。

以下の支援は、このたびの地震・津波等にかかる災害救助法適用地域に指定された地域に主たる家計保持者が居住していることを原則とします。

一、入学金の免除及び返還について
二、授業料等納付金の免除及び返還について
三、奨学金の貸与について

日本の原風景であった東北地方の単なる原形復旧や復興ではなく、世界に誇るべき伝統文化の復活と再生という意味での「東北ルネサンス」が達成された時に、真の「日本の再生」が成り立ち得るのである。世界が見守るなか英知を結集して再起発展のグラウンド・デザインを描き、日本人すべてが決然たる覚悟を固め、珠玉の如き東北を再生し、地球クリーン革命の最前線たるべく前進していこう。やがて明けの朝日が射し降り、学生・青年諸君の前途に希望の光が輝くよう祈っている。

I 教育理念
今、時代が求めている人材は、IQ（知能指数）だけでなく、高い知識偏重型の人材ではありません。時代は、専門知識や知性に加えて、良識や創意、感性などといったEQ（心の知能指数）もプラスされた、社会に積極的に関与する強い意志を持つ人材を求めています。千葉経済学園の「片手に論議、片手に算盤」という建学の精神は、このような現代社会において、ますます重要性を帯びてきております。千葉経済学園において、私たちはこの種の「切実さ」を共有していると言ってもよい。

II アドミッションポリシー（入学者受入方針）
千葉経済大学は、「片手に論議、片手に算盤」という建学の精神並びに「良識と創意」という校是を踏まえて、専門的な知識のみならず広い視野と高い倫理意識を身に身につけた人材を育成して社会の発展に寄与することを使命として掲げています。

III カリキュラムポリシー（教育課程の編成方針）
千葉経済大学では、その教育理念に基づき専門的な知識のみならず広い視野と高い倫理意識を身に身につけた人材を養成するために、経済学科と経営学科を置き、以下のような方針で教育課程を編成しております。

本学の教育方針

一、入学金の免除及び返還について
二、授業料等納付金の免除及び返還について
三、奨学金の貸与について

今回の災害等により被災した学生・生徒への生活支援として、奨学金（限度額七十五万円）を貸与します。

IV テイフプロマポリシー（卒業認定学位授与の方針）
千葉経済学部の教育理念・教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、卒業に必要な単位の要件を満たし、次に挙げる目標を達成した学生に学士の学位を授与します。

このたびの震災により被災した学生・生徒の皆様に対して、心よりお見舞い申し上げます。

千葉経済学園理事長 佐久間勝彦

今回の災害等により被災した学生・生徒への生活支援として、奨学金（限度額七十五万円）を貸与します。

右記の一〜三については、本学の「卒業要件」により、達成可能であると考えられます。

皆さんの能力向上のために

教務部長 小野 正芳



新入生の皆さん、入学おめでとうございます。また、在学生の皆さん、進級おめでとうございます。卒業後の皆さんを待ち受けている社会は、非常にダイナミックでエキサイティングなものになってきています。既存の知識や技術が一瞬で陳腐化するような時間軸で動いています。そんな社会でも活躍できるように、皆さんには在学期間中にできるかぎり自身の能力を高めてもらいたいと思います。それに対応するために、大学では様々な仕掛けを準備しています。

一つめはキャリア支援のための講義の増加です。世の中にはたくさんの情報があふれ、何が正しいのか判断することすら難しいこともありま。そんな中でも自分自身の人生にしっかりと軸をもちたい、よりよい人生を送ってほしいという思いを込めて、キャリア設計の考え方を学んでほしいという思いを込めて、キャリアアップ特別講義を設けました。また、現実問題として就職のために筆記試験を突破する必要があります。そのための対策講座も全学生に必ず履修してもらおうとしました。筆記試験に対する皆さんの負担をできるだけ減らし、面接対策を十分に行うための施策です。

二つめは特待生選考などの際の基準を変更したことで

充実した学生生活を送るために

学生部長 山岡 昭吉



学生部は、例年通り学生が充実した学生生活を送れるように支援することに専念しております。

学友会・クラブ・同好会などの課外活動団体が、支障なく活動が行われるように、援助を続けています。近年、課外活動に参加する学生が減る傾向にあります。その一方で、同好会などを新しく立ち上げる学生が増えてきており、ここ数年で、十の団体が生まれてきています。このような意欲的な学生には、より積極的な支援をしてまいります。

秋には大学祭が行われます。大学祭支援は学生部の主要な業務の一つです。大きな

す。今後は授業の成績だけでなく、就職模擬試験の成績も含めて、特待生・卒業時の表彰対象者などを選考することとしました。授業で測られる専門的知識の習熟度、就職試験で測られる普遍的知識(国民の誰もが持っているべき知識)の習熟度が、バランスよく高められることを期待しています。

三つめは進路支援講座の実施です。各種資格取得のための課外講座を設けて四年目と少しずつ成果が開始されています。これをできるだけ長く継続し、さらに高い成果を上げることができるよう、さらに充実させていく予定です。

学生の皆さんには、大学が提供する各種サービスを使いこなし、様々な知識・技術を身につけて、自分の人生を思い通りに過ごせるような人材になってもらいたいと思っています。

案内はもとより、新入生などからの様々な相談に応じ、良き先輩として親しまれていきます。学生指導員の活動は、コミュニケーション能力・リーダーシップ能力の発展などの教育的効果も大きいことから、今後も充実・発展させていきたいと考えています。学生指導員に対して、奨励賞という形で表彰していることも、その一つといえるでしょう。

大学としては数少ない「喫煙コーナー」を設けておりますが、残念ながらマナー違反者が見受けられます。最悪の場合には、学内全面禁煙とせざるを得なくなりますが、喫煙者には、大人としてマナーを守る自覚を強く求めたいと思っております。

昨年九月の千葉県では、二十六名がボランティアとして参加しました。ボランティア活動はもちろん本人の自発性から始まるものですが、学生生活支援の一環として、後押しをしていきたいと考えています。このように学生部では教職員が一丸となって、学生が充実した大学生活を送れるように努力しております。

就職状況とキャリア教育

平成二十二年度卒業生の就職状況は、景気が回復せず企業の多くが雇用を少なくしたことにより十月までは内定者が少なく約四〇%という厳しい状況でした。

しかし学生は粘り強く最後まであきらめず頑張り続けました。最終的には内定者数は昨年度より上回ることで、今年度は、東日本大震災による企業の生産活動の停滞や消費マインドの冷え込みから、経済にも広範囲に影響を及ぼし、新卒採用については

昨年以上に厳しい状況が予想されます。このような状況からキャリアセンターでは、昨年以上に就職支援プログラムを充実させて学生の就職支援に受容と傾聴を持って対応いたします。具体的には進路支援講座(公務員・金融・経理・公認会計士・税理士)、民間企業・公務員対策講座、就職活動実践セミナー、就職体験発表、女子学生対象セミナー、身だしなみ・マナーセミナー、面接対策セミナー、学内会社説明会などを実施し就職に結びつこうようにアドバイスを行います。

また、今年度からキャリア教育科目に就職試験対策のためにキャリア・アップ特別講義Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳなどを加えて充実させ、下記のように一年生から段階的に行うようにいたしました。

【キャリア教育科目】

科目名	主な内容
キャリア・デザイン入門	自分を知り、人生職業・学生生活を設計する
資格取得支援講座Ⅰ・Ⅱ	販売士3級、2級の取得を目指す
資格取得支援講座Ⅲ・Ⅳ	日商簿記3級、2級の取得を目指す
公務員試験特別講義Ⅰ・Ⅱ	公務員試験に出願される人文系や社会系の基礎的な学力を身につける
秘書学Ⅰ・Ⅱ	秘書検定3級、2級の取得を目指す
科目名	主な内容
キャリア・アップ特別講義Ⅰ・Ⅲ	企業の採用試験で出題されるSPIに対する習熟度を高める
キャリア・アップ特別講義Ⅱ・Ⅳ	企業の採用試験で出題される一般常識テストに対する習熟度を高める
キャリア・デザイン入門Ⅲ	さまざまな業界(製造業、小売業、サービス業など)の特徴や直面している課題などに対する理解を深める
企業研究	千葉県の企業などに勤務している方を講師とし、各企業の事業内容求められる人材像などについて理解を深める。
インターンシップⅠ	企業に対する手紙の書き方、電話のかけ方やマナーなどを身につける
公務員試験特別講義Ⅲ・Ⅳ	公務員試験に出願される人文系や社会系の中級レベルな学力を身につける
上級秘書学Ⅰ・Ⅱ	秘書検定準1級、1級の取得を目指す
秘書英語Ⅰ・Ⅱ	仕事で実践する英語を学ぶ
科目名	主な内容
キャリア・アップⅠ・Ⅱ	自己PR、グループディスカッション、履歴書の書き方、論文作成対策、面接対策などの就職試験に必要な実践的スキルを身につける
インターンシップⅡ	企業へのインターンシップ体験を行うために必要な知識や意識を身につけ、インターンシップを行う
公務員試験特別講義Ⅴ・Ⅵ	公務員試験に出願される人文系や社会系の上級レベルな学力を身につける

平成23年度入学式



新任教員所感



准教授 奥貫 泰正

この度、栃木県の大学から移籍してまいりました奥貫泰正です。マーケティング論・流通論等を担当致します。県内随一の文教地区にあり、落ち着いた雰囲気のある千葉経済大学において、多くの学生諸君とともに過ごせることを大変嬉しく思っています。本学の学生であることに誇りを持ち、幅広い教養や実社会で必須とされる経済・経営の専門知識を身につけていって下さい。

人生の先輩として、助言していきたいと考えています。



講師 川戸 貴史

自らが主体的かつ意欲的に学問に取り組むために、常に好奇心を抱いてください。学問の本質は、ふとした「なぜ?」「なぜ?」という思いに始まり、その「なぜ?」を自らの力で解決することにあります。どの学問が自らの将来に役に立つのか、社会のためになるのか。それも大事ですが、まずは自らがどんなことに興味を抱いたかを大事にしましょう。それが、学問に取り組みモチベーションとなるはずで、教学の精神で、共に学びたいと思います。



講師 中島 剛

この度、キャリア教育系科目や公務員試験対策科目等、皆さんの職業キャリアに深く関わる講義を担当することになりました。大きなやりがいを感じています。明るい未来に向かって、皆さんが社会への第一歩を力強く踏み出すための下地作りを全力で支援していきたいと考えています。人の生き方は千差万別です。これがベストという生き方も存在しません。なぜなら、自分のキャリアをどのように形作るかはその人個人の価値観の問題だからです。ぜひ、積極的かつ前向きに「自分磨き」をしていきましょう。



平成二十三年度 公開講演会

地域総合研究所 副所長 栗沢 尚志

本年一月八日に地域総合研究所主催の公開講演会を開催しましたので、以下にご報告します。

公開講演会は毎年実施しており、講師には、学外から研究者の方をお招きしています。毎回、多数の皆様にご参加いただき、今回で十回目を迎えることができました。その間、毎年、開催し続けられたのは、参加くださった方々のご支援のおかげと感謝しております。

さてこの度の講師には、東京経済大学元教授の大本圭野先生にお願いしました。先生は高齢者福祉や居住政策を専門としておられ、居住福祉学会副会長としての学会活動のみならず、東京都福祉審議会委員・都営住宅審議

会委員として行政にもアドバイスをしておられます。今回は、「高齢化する日本―新しい暮らし方を考える―」の論題でご講演いただきました。先生のエネルギーシユな講演、そしてご参加者は教室に空席がないほどの大勢と、当日は大いに熱気あふれる二時間となりました。なお、大本先生は日本評論社から『市民自治と生活保障』という新刊本を出版されています。

次回も生活や仕事に直結したテーマを設定し、実施

する予定です。詳しくはホームページ上などでお知らせしますので、ご参加をお待ちしております。



地域経済博物館特別展

学芸員 永井 宏直

千葉経済大学地域経済博物館は、昨年六月に開館し、こ

れまでに二度の特別展を開催させていただきました。



まず、大学祭時期に合わせ、企画展「千葉県御宿のアマ(海女・海士)暮らしと民具」学芸員課程調査実習成果展」を開催いたしました。本学学芸員課程では平成十六年度から千葉県御宿町にて、調査実習をおこなっております。



その中で、現地のアマさんたちよりご寄贈いただいた漁撈道具を展示するとともに、アマさんたちの生活について紹介させていただきました。

展示の前半部分では、江戸時代以降に使用されていた民具(生活用具)の展示をおこなない、後半部分で、それら多くのものの燃料として使用されていた炭、とりわけ千葉県上総地方にて、常盤半兵衛が確立した半兵衛炭



特別展「くらしのなかの経済」千葉の歴史にみるエコロジー」では、本学が受託している古文書をはじめ、千葉市立郷土博物館より借入れた民具、半兵衛炭の会長である木曾野正勝氏より借用した炭造りの道具などを展示いたしました。

展示の前半部分では、江戸時代以降に使用されていた民具(生活用具)の展示をおこなない、後半部分で、それら多くのものの燃料として使用されていた炭、とりわけ千葉県上総地方にて、常盤半兵衛が確立した半兵衛炭

なりました。どちらの特別展も盛況の内に、無事終えることができました。現在は、常設展「近世江戸地廻り経済圏と房総の名主たち」へと展示を戻して運営しております。また、今年度も二度の特別展を計画しております。是非一度足をお運び下さい。

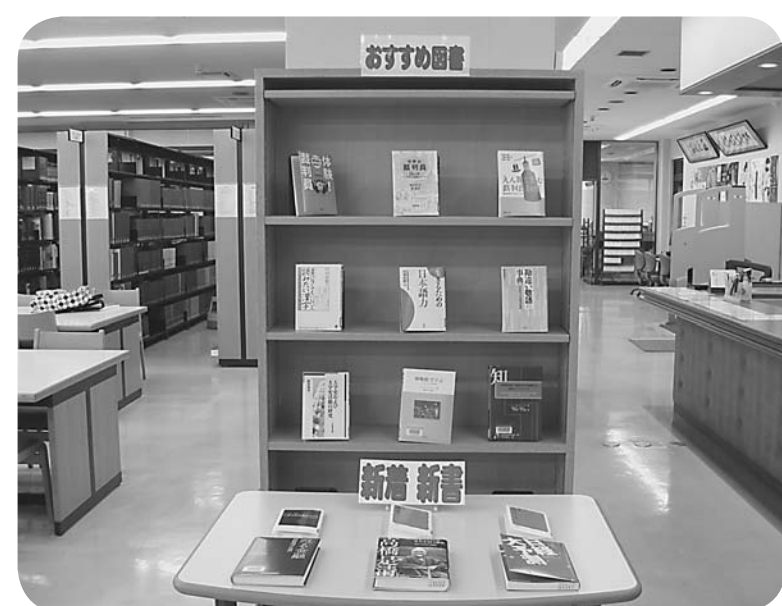
学生ブックツアーについて

千葉経済大学総合図書館の平成二十三年度における新イベントとして「学生ブックツアー」を実施します。目的は、図書館運営に対する学生の参加意識を高め、図書離れが進んでいる学生に本を読む習慣をつけるため、図書館を利用する頻度を上げ、学生同士の交流と意見交換の場を作ることです。

活動内容としては、大学、短大生の中から「学生選書委員」を選出し、年二回書店に行き読みたい本を選んで購入してもらいます。

購入した本は、図書館内に「学生が選んだ図書コーナー」を設け、選書委員が選んだ図書の推薦文、ポップを作成し本と一緒に展示します。大学図書館は一般教養から専門知識に至るまで広範な資料を取り揃えています。これらの資料は、授業の予習や復習、レポート作成の資料収集、試験勉強、卒業論文の資料収集、資格取得の勉強、就職活動の準備などに役立ちます。本来の勉学以外に、学生時代に広い視野を修得する

ために読みたい図書や情報を学生が自ら選び、他の学生にも読むことを薦めていただきたいと考える。本学図書館の存在が学生の交流の場になることを願っています。



「皆さんとともに……」

カウンセリング・センター長 齋藤 朗



新生生の皆さん、入学おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

さて、学生時代は一般に入学期(入学後一年間)、中期(二・三年次)、卒業期(卒業前一年間)というふうに分けられます。入学期はいうまでもなく、これまで慣れ親しんできた高校生活に別れを告げ、大学での新しい生活へと移行する時期にあたります。この時期は生活の面で様々

な変化が起こるうえ、自主的に行動することが求められます。入学直後の右も左もわからない中、学業面では複雑な履修方法や授業の進み具合に戸惑いをおぼえたり、また対人面においては新しい友人関係作りには神経を使い苦労することもあられるでしょう。夢と希望に胸をふくらませて入学してきたとはいえ、意外とこの時期にさまざまな学生は多いものです。

カウンセリング・センター(以下カ・センター)は専門のカウンセラーが皆さんの悩みや不安に耳を傾け、そして話し合いながら充実した学生生活をおくれるようお手伝いしていくところです。悩みに小さい、大きいはあ

りません。悩みがある、ということはあなたに悩む力があるということであり、自分自身に真摯に向き合っていると、遠慮することなく気軽に足を運んでいただければ幸いです。

カ・センターは開設されてから今年で満十年を迎えます。カウンセラーもこれまでの二名から四名に増員され新たに分室も設置されました。カ・センターはこれまで、そしてこれからも皆さんのそばに寄り添いながらともに歩んでいきたいと思っております。

開室日時	場 所	カウンセラー
火曜日 9:40 ~ 16:00	カウンセリングセンター分室 (高校1号館3階)	上田和子 (臨床心理士)
水曜日 9:40 ~ 16:00		高橋裕子 (臨床心理士)
木曜日 10:40 ~ 12:10	カウンセリングセンター (大学2号館3階301室)	鈴木水季 (臨床心理士・精神保健福祉士)
金曜日 9:30 ~ 16:20		齋藤 朗 (学校心理士・認定カウンセラー)

来談方法 原則として保健室で予約申込を行って下さい。(休業期間等の理由により、開室日時が変更される場合は、別途掲示連絡します。)

父母の会会報

父母の会会則

- 第一条 本会は、千葉経済大学父母の会という。
- 第二条 本会の事務所を千葉経済大学内に置く。
- 第三条 本会は、千葉経済大学と家庭との連絡及び会員相互の連携を密にし、大学の発展に協力することを目的とする。
- 第四条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行なう。
 - 大学と会員との間のコミュニケーションの充実
 - 会員相互の親睦
 - 教育の充実に対する協力
 - 学生の文化・体育の活動に対する協力
 - 学生の就職、生活等に対する協力
- 第五条 本会は、次の会員をもって組織する。
 - 正会員 学生の父母その他の保護者
 - 賛助会員 本会の目的に賛同し、理事会で承認された者
- 第六条 本会に次の役員を置く。
 - 会長 一名
 - 副会長 若干名
 - 理事 五〇名以内
 - 監事 二名
- 第七条 役員は、次の方法で互選する。
 - 理事は、正会員の中から互選する。
 - 会長及び副会長は、理事の互選により、総会の承認を得るものとする。
- 第八条 役員は、その選出された日から定期に開催される次の総会の日までとする。ただし、再任を妨げない。
- 第九条 役員は、その選出された日から定期に開催される次の総会の日までとする。ただし、再任を妨げない。

平成23年度 父母の会年間行事予定

時期	内容
4月2日(土)	入学式
5月14日(土)	第1回理事会・定期総会・ゼミ担当と父母との個別面談
5月下旬	大学新聞・定期総会報告・父母用ハンドブック発送
5月27日(金)	第1回特別メニュー
7月28日(木)	第2回特別メニュー
9月24日(土)	地域懇談会(ゼミ担当と父母との個別面談)
10月下旬(予定)	就職情報交換会(予定)
10月29日(土)	第2回理事会・大学祭参加
11月下旬	大学新聞発送
11月25日(金)	第3回特別メニュー
1月27日(金)	第4回特別メニュー
2月上旬(予定)	内定企業との懇親会(予定)
3月10日(土)	第3回理事会
3月22日(木)	卒業式

※父母の会会員の方には、定期総会及び個別面談のご案内をいたします。

父母の会特別メニュー

皆さんの父母で組織している父母の会の補助により、学食の定食メニューが**超!豪華になります。**

1食単価**1200円前後の食事が450円で食べられる!!**

特別メニュー例 **ビーフステーキ定食** **ハンバーグステーキ定食等**

限定 80食!!




二 総会は、毎年一回開き、予算、決算、役員を選出、会則の変更その他必要と認められる事項を審議し、出席会員(委任状によるものを含む。)の過半数の賛成をもって開くことができる。

三 会長は、必要があると認めるときは、臨時に総会を開くことができる。

四 理事会は、会長が、必要に応じて召集する。

第十一条 本会の経費は、会費及び寄付金その他の収入をもってこれに充てる。

第十二条 本会の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終る。

第十三条 会長は、学長の同意を得て、本会の事務を大学事務局に委嘱するものとする。

個別面談

毎年、総会と併せて個別面談が行われています。

本学では、全学生が演習に所属し、担当教員から指導を受けることができます。

個別面談では、演習担当教員から学生の履修状況などの報告があり、保護者からの質問も受け付けます。

「高校の担任の先生のように一人ひとりの学生に対応してくれて



いる」と、保護者の方にも好評です。



同窓会会報

千葉経済大学を卒業して

照屋 裕以花



私は、大学生活を通じ、クラブ活動や学校行事やボランティア活動など様々な経験をすることができました。大学生活の中で特に思い出に残っていることが三つあります。

まず、一つ目は、吹奏楽部で部長をやったことです。部長として、活動内容の計画や練習中に指示を出した

私は、大学生活を通じ、クラブ活動や学校行事やボランティア活動など様々な経験をすることができました。大学生活の中で特に思い出に残っていることが三つあります。

まず、一つ目は、吹奏楽部で部長をやったことです。部長として、活動内容の計画や練習中に指示を出した

卒業生紹介

高校教員になって

橋本 洋平



この度、今年四月一日から、私の母校である茨城県立波崎柳川高等学校で非常勤講師として勤務させていただくことになりました。

私は、平成二十二年三月に本学を卒業後、教員免許を取得するために科目等履修生として一年間勉強させていただきました。

この大学で学ぶことができ

や設営、当日の運営を行って来ました。

スタッフ同士のチームプレーの大切さや相手の立場に立ち物事を考えることを学びました。

そして、三つ目は、教職課程を履修し、免許を取得したことです。大学の模擬授業とは異なり、実際の現場での授業では、生徒の反応が新鮮で毎日楽しく授業を行うことができました。

私は、大学生活で責任感や人とコミュニケーションをとることがどれだけ大切なことを学ぶことができました。限られた大学生活の中で、自分自身にとって大事なことをどれだけ身に付けられるかによって社会人になったときに自身の成長が感じられるのだと思います。

四年間、ありがとうございました。

クラブ 勧誘を行って

学友会執行部



四月五日(日)にエスタリアで行ったクラブ勧誘は、昨年よりも更に活気溢れるものとなりました。

今年はお昼休みにエスタリア二階にてチラシとポスターによる勧誘と放課後にはエスタリア一階にて各クラブブースを設けた勧誘活動を行いました。

放課後の勧誘時には新入生は来てくれるのだろうかと不安でしたが、予想以上に新入生が参加してくれたので大変嬉しかったです。



私たちは学友会は各クラブが活動しやすく、大学全体がクラブ活動によって盛り上がるように日々頑張らなければいけないと感じました。



本学硬式野球部が 中学生対象に野球教室を行いました

平成二十三年二月六日(日)、茂原市の長生の森野球場において、本学硬式野球部十四名及び監督・コーチが、長生地区の中学校十一校の野球部のみなさん四十四名に野球教室を実施しました。

最初にウォーミングアップの指導から始まり、キャッチボールの基本動作、サインプレー、ゲーム形式のノック、投手へのボールの握り方や打球フォームなどの指導を行いました。指導した本学野球部員は「中学生は素直に話をしっかり聞き、一生懸命取り組む姿勢がいいと思います」と話していました。また指導を受けた中学生は「今日、指導していただいた事を忘れず、これからも精一杯練習します」と話していました。

この球場を本学硬式野球部がリーグ戦等で使用するから、日頃のご好意に対する感謝の気持ちを、示す形で行っているものです。



特別活動奨励賞を受賞して

4年 経済学科 鈴木 遣人



私は二年生の四月から現在に至るまで、千葉経済大学のオープンキャンパス学生スタッフとして活動しています。当初、私は参加者とうまくコミュニケーションがとれるのか、学内見学ツアーで説明できるのかなど不安がたくさんありました。

オープンキャンパスが始まってみると、初対面の参加者に大学の良い所を上手に話すことができず、自分が思っていることを他人に伝えることが、簡単ではないということを知りました。そこで、私は参加者に対して、積極的な挨拶と、自分から話しかけてみるということを心がけることにしました。初めは小さな一歩でしたが、挨拶と自分から参加者に歩み寄るといった姿勢を心がけた結果、以前の自

分より参加者に笑顔で対応することができ、大学の良い所を伝えることが出来ました。その結果、大学の説明がわかりやすかったと感謝されるようになりました。

今回、これらのオープンキャンパスでの活動が認められ、特別活動奨励賞を受賞することができ、大変嬉しく思います。また、このような貴重な体験をさせていただいたことをオープンキャンパス関係者や参加者の方々に感謝し、今年度も頑張っていく予定です。

学生指導員について

2年 経済学科 飯合 貴史



学内・学外の行事にボランティアとして活動している学生指導員ですが、昨年度は「父母の会定期総会」と「千葉県」のボランティアをしました。父母の会定期総会では、保護者の方々の受付・案内の係をやらしました。仕事の内容については事前に聞き、メンバー内で打ち合わせをしました。

しかし当日になると「失礼があつてはいけません」という思いから緊張してしまい、戸惑ってしまうこともありませんでした。

昨年四月から学生指導員の一人として活動しています。私は入学した時から「部活動でも同好会でもいいから、何かしたい。」と思っていました。そんな時に学生指導員の話を聞き、ミーティングに参加したのをきっかけに学生指導員になりました。

千葉国体では主に清掃係として活動しました。千葉県を挙げてのイベントで、日本中からたくさんの方が集まりました。そのため清掃の仕事も休むことなくやりました。国体という滅多に関わることはないイベントのボランティアをしたことは、今でも誇りに思っています。

学生指導員をやっていると、人のために活躍していることに喜びを感じるようになります。私のように、大学生になったからには何かしたいと考えている方は、学生指導員をやってみるのはいかがでしょうか。学生生活が、より充実したものになるかもしれません。

奨学金について

本学では学習意欲と能力のある学生に対して日本学生支援機構奨学金と、本学独自の千葉経済学園奨学金の二種類の奨学金貸与申込を受け付けています。毎年、年度初めの四月にガイダンスを行い順次申請手続きを行います。

またこのたびの震災の影響で文部科学省から、大学などで学ぶ意欲のある学生が経済的理由により就学を断念することのないよう、と被災学生に配慮するよう全国の大学に通知がありました。具体的には、日本学生支援機構の緊急採用奨学金制度の周知、さらに各大学の経済支援制度や納

千葉経済大学特別活動奨励賞推薦の要件等

- 条件：①1年次生から3年次生までの大学公認団体での活動内容
- ②人物評価
 - ※審査は3年次生の5月までの活動内容とし、7月に表彰式を行います。
- 対象団体：学友会執行部、大学祭実行委員、学生指導員、オープンキャンパススタッフ、学生選書委員、課外活動団体

またこのたびの震災の影響で文部科学省から、大学などで学ぶ意欲のある学生が経済的理由により就学を断念することのないよう、と被災学生に配慮するよう全国の大学に通知がありました。具体的には、日本学生支援機構の緊急採用奨学金制度の周知、さらに各大学の経済支援制度や納

付時期などの猶予などを弾力的に活用することです。日本学生支援機構奨学金については緊急の奨学金の主な対象は、災害救助法が適用される地域に住む学生や被災地に実家がある学生です。その中でも、学費や生活費を払う両親が死亡・負傷したり、家が倒壊して家計が困窮していることが条件となります。無利子の「緊急採用奨学金」と有利子の「応急採用奨学金」の二種類があり、金額は緊急採用奨学金が月額三万六千四百円、応急採用奨学金が月額三万二千円。罹災(被災)証明書の提出が必要となります。また本学においても、被災の状況により入学金の免除及び返還、授業料等納付金の免除及び返還(全額または半額)、奨学金の貸与(限度額七十五万円)の支援を設けています。詳細は本学HPや掲示板をご覧ください。学務課にお問い合わせください。

平成24年度 入試案内

入試区分	募集人員	出願期間	試験日	可否通知送日	入学手続締切日	
A O 入試	一般	A日程	9月2日(金)～9月7日(水)	9月11日(日)	9月12日(月)	9月30日(金)
		B日程	9月30日(金)～10月5日(水)	10月10日(月) 体育の日	10月11日(火)	10月31日(月)
		C日程	11月4日(金)～11月9日(水)	11月12日(土)	11月14日(月)	12月2日(金)
		D日程	12月14日(水)～12月20日(火)	12月23日(金) 天皇誕生日	12月24日(土)	1月6日(金)
		E日程	1月13日(金)～1月18日(水)	1月21日(土)	1月23日(月)	2月3日(金)
		F日程	3月9日(金)～3月14日(水)	3月16日(金)	3月17日(土)	3月23日(金)
スポーツ・文化	—	9月30日(金)～10月5日(水)	10月10日(月) 体育の日	10月11日(火)	10月31日(月)	
附属高校推薦入試	15	10月17日(月)～10月25日(火)	11月3日(木) 文化の日	11月4日(金)	11月15日(火)	
指定校推薦入試	50	10月20日(木)～10月31日(月)	11月3日(木) 文化の日	11月4日(金)	11月18日(金)	
公募制推薦入試	10	10月20日(木)～10月31日(月)	11月3日(木) 文化の日	11月4日(金)	11月18日(金)	
商業科特別推薦入試	10	10月20日(木)～10月31日(月)	11月3日(木) 文化の日	11月4日(金)	11月18日(金)	
一般入試	A日程	65	郵：1月16日(月)～1月27日(金) 窓：1月26日(木)、27日(金)	2月4日(土) 2月5日(日)	2月7日(火)	2月17日(金)
	B日程	10	郵：2月13日(月)～2月20日(月) 窓：2月17日(金)、20日(月)	2月23日(木)	2月24日(金)	3月2日(金)
	C日程	10	郵：2月29日(水)～3月6日(火) 窓：3月5日(月)、6日(火)	3月9日(金)	3月10日(土)	3月16日(金)
附属高校特別推薦入試	若干名	2月13日(月)～2月20日(月)	2月23日(木)	2月24日(金)	3月2日(金)	
社会人入試	A日程	若干名	12月14日(水)～12月20日(火)	12月23日(金) 天皇誕生日	12月24日(土)	1月6日(金)
	B日程	若干名	2月13日(月)～2月20日(月)	2月23日(木)	2月24日(金)	3月2日(金)
帰国子女入試	若干名	2月13日(月)～2月20日(月)	2月23日(木)	2月24日(金)	3月2日(金)	
編入学試験(2・3年次)	A日程	若干名	11月4日(金)～11月9日(水)	11月12日(土)	11月14日(月)	12月2日(金)
	B日程	若干名	2月13日(月)～2月20日(月)	2月23日(木)	2月24日(金)	3月2日(金)
特別編入学入試(平成25年度)	若干名	平成24年4月3日(火)	平成24年4月5日(木)	平成24年4月6日(金)	平成24年4月30日(月)	
大学院入試	A日程	10	9月30日(金)～10月5日(水)	10月10日(月) 体育の日	10月11日(火)	10月31日(月)
	B日程		1月13日(金)～1月18日(水)	1月21日(土)	1月23日(月)	2月3日(金)
	C日程		2月29日(水)～3月6日(火)	3月9日(金)	3月10日(土)	3月16日(金)

大学憲章

千葉経済大学は、「片手に論語、片手に算盤」という建学の精神並びに「良識と創意」という校是を踏まえて、専門的知識のみならず広い視野と高い倫理意識を身につけた人材の養成を図るものとする。

このため、学部においては、経済学・経営学の分野における専門的知識に加えて良識及び理解力・想像力・表現力・積極性などの社会人基礎力を具え、他人に共感することのできる感性と高い倫理意識を身につけた人材を養成するものとする。

また、大学院においては、現代社会の高度化した要請にこたえ、経済・会計の分野で貢献し得る高度な専門的知識を有する職業人の育成を図るものとする。

教員は、本学の教育目的に即して教育活動に取り組みとともに、学問の自由の理念に則り人類普遍の真理の探究と知の創造に貢献し得るよう研究に努め、あわせて地域社会の発展に資し得るよう努めるものとする。職員は、教員の教育・研究活動を支援するものとする。

ともに、学生が学園生活を享受しつつ社会人基礎力を身につけた人材として卒業できるように、教員と緊密に連携して、入学から卒業・就職に至るまできめ細かな学生支援を行うものとする。また学生は、本学の教育目的を踏まえて勉学に努めるとともに、学園生活を有意義に過ごしつつ、地域社会に貢献できるよう努めるものとする。

平成23年度 オープンキャンパス日程

開催日	備考
第1回 5月28日(土)	A O 入試 (A日程) 志願には第1回～第6回のいずれかのうち、最低1回の参加が条件となります。
第2回 6月18日(土)	
第3回 7月9日(土)	
第4回 7月23日(土)	
第5回 8月6日(土)	
第6回 8月20日(土)	A O 入試 (B日程) 志願には第6回・第7回のどちらかの参加が条件となります。
第7回 9月17日(土)	
第8回 10月15日(土)	

※毎回10:00～12:30開催。オープンキャンパス終了後にA O入試等についての詳細な説明を行います。

人事異動

- 【教員】
 - 退職 (3月31日付)
 - 木下 勝雄 教授 (4月1日付名誉教授)
 - 藤原 俊朗 教授 (4月1日付名誉教授)
 - 太田 元 特任教授
 - 採用 (4月1日付)
 - 奥貫 泰正 准教授
 - 川戸 貴史 講師
 - 中島 剛 講師
 - 昇任 (4月1日付)
 - 栗沢 尚志 教授
 - 藤生 裕 教授
 - 太田 壘 准教授
 - 佐藤 典子 准教授
 - 周 炫宗 准教授
 - 退職 (1月31日付)
 - 島村 和子 総合図書館図書館課主任
 - 採用 (2月1日付)
 - 藤井 恵子 総合図書館図書館課
 - 昇任 (4月1日付)
 - 山辺 鉄 大学・短期大学部事務局次長
 - 高橋 里子 大学・短期大学部事務局キャリアセンター



マルチディスプレイ(電子黒板)を10台導入しました

本学では、半数以上の教員が、プロジェクトをはじめ、DVD、書画カメラなどの視覚機器を使用し授業を行っています。

教室の収容人数が百人以上の教室においては、視覚機器システムが教室内に設置されているものの、百人未満の教室、五階演習室(五〇一教室を除く)では、視覚機器システムが教室内に設置されておらず、昨年度までは、ポータブル式のプロジェクトや、VTR・DVDデッキ、移動式テレビ等を教室に持ち運び対応してまいりました。

そのため、授業の運営を円滑に行うこと、演習でのプレゼンテーション力高めるとともに、就職関連指導にも有効な一助となることを目的として、五階演習室、ならびに三〇四、四〇八の小規模教室にマルチメディアディスプレイを10台導入しました。

マルチメディアディスプレイはパソコンと接続されており、プロジェクトを介さずパソコンのディスプレイとして使用でき、動画の鑑賞(VTR・DVD)や、ホワイトボードとしての使用も可能です。学生の皆さんも、操作することが可能ですので、教職員の指導の下、大いに活用してください。



学内施設の改修

本学の学習環境の良さを、施設の維持管理については、日頃学生やオープンキャンパス時のご意見等でも「他大学に比べてきれいな」と高評価をいただいています。

ただし、講義室の集中している一号館などは一九八八年の開学当初から二十年以上たっており、老朽化は避けられないため、順次改修と設備のリニューアルを行っています。

○一号館四・五階床面改修
昨年施工した二・三階の床と同様に、廊下と教室のグレーの床面Pタイルを明るい色に張り替え、照明の反射率もよくなったことで、各演習室も含めフロア全体がとて明るい印象になりました。

○図書館改修
大学と短大で共用している総合図書館は、二階が受付カウンターになっており、一階エントランスに暗い部分がありました。入口となりに地域総合博物館が設置されたこともあり、エントランスを明るくするとともに、一階、二階の男女トイレについても、ウォッシュレット、音姫(擬音機能)を設置し明るい雰囲気としたしました。

